

デザイン課 菊村 公介



デザイン課 坂口 雅弥

ゼロのプロです。

MEIDEN Engineer's Note : No.17 プロダクトデザイン

使う人のことを考えて、使いにくい部分を0にする。危険性を0にする。無駄なコストを0にする。私たち明電舎のデザイン課には、問題をゼロにする技術があります。使う人が少しでも不便に感じたら、そのデザインはもう一度ゼロから考え直す必要があると思うのです。それは例えば、屋外に設置する電気設備にも、モバイル端末で操作する情報管理システムのインターフェースにも言えること。使う人があれこれ考えなくても快適に使える

よう、徹底的に考えてデザインアイデアを練る。よいデザインになるまで何度も、何度も検討を重ねる。そのようにユーザーの使い勝手を真ん中に据えて、不便な点をゼロにするのが「人間中心設計」。私たちの基本思想なのです。どれも社会性の高い製品だからこそ、使いにくさがゼロになれば、みんなの利便性が最大になる。プレッシャーだけはゼロになりませんが、やりがいのある仕事です。今日も手を動かして、未来を描いています。

>>> [明電舎 エンジニアズノート](#) [検索](#)

テクノロジーで、流れを変える。



株式会社 明電舎